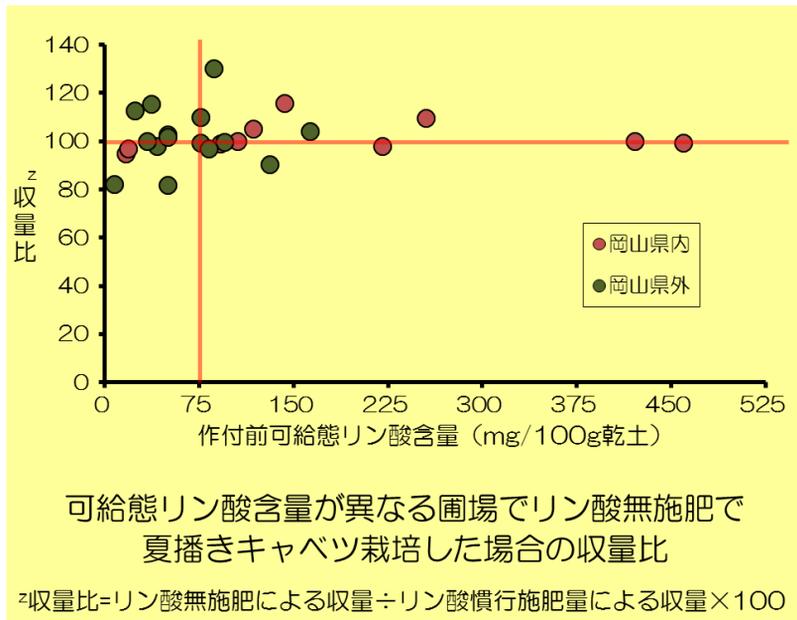


# リン酸施肥を必要としない キャベツ畑の判断基準



## 開発のねらい

県南の夏播きキャベツ産地では、土壤中にリン酸が過剰に蓄積した畑が多い傾向にあります。そこで、施肥コスト削減のために、リン酸を施用しなくても収量が減少しない土壤中のリン酸含量の基準を示しました。

## 新技術の概要

- 土壤中に可給態リン酸含量が乾土100g当たり75mg以上あると、リン酸を施用しなくても減収しません（黒ボク土を除く）。
- リン酸を施用しないと、土壤中のリン酸含量は徐々に減少します。数年に一度土壤中のリン酸を分析し、75mg以下になったらリン酸施肥を再開します。

## 活用場面

キャベツ栽培での施肥コスト削減により、生産農家の収益性が向上し、県南野菜産地の発展につながります。